

令和2年度第2回浅口市総合教育会議議事録

1. 招集日時 令和2年10月14日(水)
2. 場 所 中央公民館 2階 視聴覚室
3. 開 会 午後3時30分
4. 閉 会 午後4時20分
5. 出席者 市長 栗山康彦 教育長 中野留美
教育委員 佐藤賢次 教育委員 藤澤弘幸
教育委員 高戸 崇 教育委員 吉田英子
6. 説明のために出席した者の氏名
教育次長 小山朋子 教育総務課長 藤澤智広
学校教育課長 小野力矢 こども未来課長 笠原清美
文化振興課長 安原直子 生涯学習課長 瀬良昌弘
学校教育課長補佐 加藤靖雄 総務課長 柚木章宏
教育総務課 山崎友紀(事務局)
7. 議事の概要
教育次長 令和2年第2回浅口市総合教育会議の開会を宣する。
次第2 市長挨拶について
市 長 令和2年度第2回総合教育会議にお集まりいただきありがとうございます。
コロナ禍の中、子ども達の教育をどうすべきか考えて
いきたいと思う。
教育次長 次第3 協議題について
浅口市総合教育会議運営要綱第3条の規定により、市長に議事進
行を求める。
市 長 浅口市総合教育会議運営要綱に基づき、議事進行を行う。
協議題 浅口市教育委員会のICTの推進について
事務局に説明を求める。
教育総務課長 資料にもとづき、1. 浅口市教育委員会のICT化の現状と今年度
の整備計画、2. 今後想定されるICT化事業等、3. 今後想定さ
れる課題、4. 対応策案について、説明を行う。
まず1. 浅口市教育委員会のICT化の現状と今年度の整備計画に
ついて。
まず学校関係の取組みを報告する。現在学校には校務用PC・指導
用PC・タブレット・パソコン教室へ合計1,444台のPCを有して
いる。またICT支援員を小中学校へ2人配置している。GIGAスク
ール構想の動きとして、9月GSuite教師用アカウント約120アカウ
ント取得、研修会及びオンライン授業テスト実施、10月GSuite

児童用アカウント2,335アカウント取得予定、10月～3月校内LAN環境を順次構築、1月電子黒板50台追加購入予定、2～3月児童用一人一台PC端末2,535台支給予定、家庭学習用ネット環境整備としてモバイルルーターの貸し出しなどを進める。その他市立図書館の取組みとして10月から市立3図書館内フリーWi-Fi利用開始、岡山天文博物館では、平成30年度からフリーWi-Fiの利用を開始している。

学校教育課長補佐

(写真をプロジェクター投影し、説明)

学校のタブレット使用中の写真である。プログラミング学習を算数科の時間に行っている。次の写真はプロジェクターを使用し、書画カメラで映したものをマグネットスクリーンに写している状況である。しかし、書画カメラに関しては照明を落とさないといけない点、スペースを確保しなければならない点、準備の手間などの問題がある。次に紹介する写真は電子黒板にデジタル教科書を映した授業風景であるが、電子黒板であれば照明を暗くする必要もなく、電子黒板に直接書き込みすることも可能であり、保存もでき、明るく、感度もよい。次の写真は複数のカメラでオンライン環境のテストをしている風景である。オンライン授業の可能性として、講義、ホームルーム、出席停止等の子どもへの個別指導などが可能と考える。また学校に来づらい子や適応指導教室の子ども達が学級の雰囲気を知る手段とすることも考えられる。また他にも職員の研修や保護者との面談も可能性として考えられる。さらに今後学習用デジタル教科書の導入も検討されている。ただ、全てがデジタルに取って代わるというのではなく、私たちがこれまで培ってきた教育実践の蓄積と一人一台端末とのマッチングをいかに行うか、ここは未開拓の部分ではあるが、子ども達と共に作り上げていきたいと思っている。次の写真は図書館のフリーWi-Fi整備、岡山天文博物館のリモート講演、講演会のWEB配信などの様子の写真である。

教育総務課長

次に、2. 今後想定されるICT化事業について。

デジタル教科書の導入、タブレット端末の追加購入等、教員・保護者向けの研修の実施、教師用ネットワークの分離、3公民館内フリーWi-Fi整備の検討、電子図書館の検討、リモート会議・WEB配信の実施、施設予約システム導入検討等想定される。

3. 今後想定される課題について。

ネットワークのトラブル対応、タブレット端末の資産管理、児童生徒の端末操作支援、ユーザーアカウントの管理、授業計画の作成支援、ICT機器・教育用ソフトの準備支援、教育情報セキュリティポリシーの作成、長期的な市の情報化の方向性の提示など

が考えられる。

4. 対応策について。

例として人材の登用、会計年度職員の登用、外部委託の検討などを考えている。

市長 実際に 65 インチの電子黒板が使用されている風景を初めて見たが、浅口市は ICT 機器等の普及率は県内トップクラスである。ハード面は整っているため、ソフト面も整えていかないといけないが、ただ今説明のありました協議題に関しまして、ご意見・ご質問等ありますか。

高戸委員 ソフト面から。ICT 支援員の現状について説明があったが、年間 15 回では今後の状況を考えると足りないと思う。今後増やしていくのか、又は他の外注の方法を考えるのか。

市長 まず事務局へ現状の回答を求める。

教育総務課長 ICT 支援員は現在 2 人おり、年間 15 回各学校に来るようにベネッセに委託している。

市長 それが一番大きな課題である。タブレットを先駆けて導入した際、ソフト面の支援としてベネッセへ ICT 支援員を委託したが、費用が高く、県に補助金を出すように協力を依頼してきた現状がある。

佐藤委員 ICT を円滑に進めていくうえで、人材の登用などが考えられるが、市長部局は、現在何台の端末があり、何人の職員がこういった形で管理やトラブル対応を行っているのか。

総務課長 市長部局では、職員が業務で使用する LGWAN 系の端末 390 台、インターネット系の端末 123 台、基幹系の端末 87 台、合計 600 台を保有している。係としては情報管理係があり、係員 2 名の正規職員が、出先も含め 600 台の端末・周辺機器の管理・運用、全体のネットワークのセキュリティー対策、個人番号の管理などを行っている。ネットワークやサーバーは外部からレンタルしており、トラブルなどあれば業者が対応するよう外部委託している。またそういったサーバーはクラウド化し、防災の面から庁舎外の強固な建物に置いている。

藤澤委員 課題を見ていて、大変な事業であり費用もかかると感じた。

講義形式の授業が今後オンラインで可能ということであるが、誰か一人の先生の授業を一斉配信することも可能だと思う。もっと言えば、授業を他から仕入れてくることもできると思う。そうなれば授業に割く先生の人員を減らすことができたり、逆に少人数指導ができるようになったりということが考えられるが、ここで投資することで将来こういった形で費用を回収していくか、費用をかけることによってこういった効果があるのかを常にセットで

考え、共有していかないといけないと思う。例えば子ども達がパソコンを使えるようになればコミュニティ・スクールなどによって祖父母に教え、市全体のスキルアップにつながるとか、ただただ支援員を増やす、タブレット台数を増やすなどではなく、将来どうなっていくのかをしっかりと示すことができればいい形になっていくと思う。

教育長 将来的な展望を持つことは大事だと思う。ただ、初期投資も必要なことだと考えている。今は費用をかける時期だと思っている。

藤澤委員 初期投資をいかに将来に活かすのかということ、目に見える形で示すことが大事だと思っている。

市長 おっしゃることは分かる。ただ、国から急激なスピードで事業をやるよう指示があり、やりながらという面は否めない。しかし子ども達も初めてのことであり、しっかりサポートしていく必要があると思っている。人員の話があったが、ICT 支援員の確保という面では全国で同じ課題が発生しており、人員の奪い合いになる。お金を出すだけではだめだと思う。先ほど言われたような、浅口市はこういうことを目指しているということを示し、共感していただくことも大切だと思う。

吉田委員 ICT の推進については喫緊の課題であるが、人材面に関しては私は明るい展望を持っている。私自身、放課後学習支援ボランティアの募集があった際に応募したが、他にも5人の応募があった。また、自分自身が教員として勤めていた際にも情報関係に強い方はいらっしやった。一人一台タブレットを持つようになった際にも、チラシなどを配ってボランティアの方を探す努力をするべきだと思う。探し方として、例えば低学年が触る時間だけ支援するというだけでもいいし、この時間のこの部分だけお願いしたいという段階を設け、この部分だったらお手伝いできるなど思えるような募集の仕方にしていただければ、授業支援的な面は人手があるのではと思う。逆にタブレットの故障やネットワークトラブルなどに対応できる専門の技術者の方を雇うという方法が良いと思う。

電子黒板の授業風景を始めて見た。この10年で時代がこんなに進むのかと感じた。この流れについていくのは大変だが、子供たちはこの時代に生きているのだから、最善の物を与えて、今後の人生を生き抜くためにしっかり教えてあげられる体制を整える必要があると感じている。

市長 授業をサポートする人、故障などに対処する人、皆様からの情報ももらいながらできるだけ早く探してもらいたいと思う。

高戸委員 10月から3図書館でWi-Fiが使えるということだが、今後他の

場所に拡大する予定はあるか。

教育次長 希望として公民館を考えている。今年度前半は、新型コロナウイルス感染症対策の為、講座等実施できなかった。その経験を踏まえ、今後はリモート・オンラインによる事業開催なども考えていかないといけないと思っている。そういった場合にも実施できるように、今後は公民館においても必要だと考えている。

高戸委員 みんな図書館に殺到すれば密の状況になるため、分散できるように拡充して欲しい。

市長 今後、子どもに関してはタブレットを持ち帰る可能性もあるため各家庭の通信環境を整える必要がある。

教育総務課長 家庭学習が必要になった場合、就学援助対象家庭にモバイルルーターの貸し出しなどを考えており、今年度は通信費を補助する予定で予算化している。

吉田委員 対象家庭は200家庭くらいか。

教育総務課長 就学援助対象者は200人だが、世帯としてはもう少し減ると思う。また、その対象者の中には既に通信環境が整っている家庭もあるかもしれないので、今後調査を行っていく。またモバイルルーター以外の手段も新しく出てきているため、ベストな方法で通信環境を整えていこうと思っている。

市長 通信環境が整っている家庭とそうでない家庭とで、格差が生じないように行ってもらいたい。

手探りの段階でやってみないと分からない所が大いにあるが、その都度、皆様にも相談をしながら行っていこうと思う。

私からその他として、情報提供をさせていただきたい。

インフルエンザ予防接種費用について、小学六年生までの子どもについては県の補助で無料、中学生・高校生については市独自の補助で無料、高校卒業から64歳までは一律2,000円補助、65歳以上は無料にさせていただいている。10月24日までは65歳以上の方を優先的に打っていただけるので、対象の方はその期間に受けていただきたい。

その他について、他に何かあるか。

構成員 特になし。

市長 その他について、事務局から何かあるか。

教育次長 特になし。

市長 令和2年度第2回浅口市総合教育会議の閉会を宣する。